

vol. **64**
March 2025

ファール

F a l a



- P2 山形に笑いと元気を届けるアマチュア落語家～宝笑亭姉妹～
- P4 「想いを引き継ぐ」中村明美さんに聞く事業承継
～失敗は成功のもと！前向きに楽しみながら歩んだ20年～
- P6 女性人材育成事業「まち、わたし、きらめく Women's Campus 山形」
1・2期生座談会
- P8 「まち、わたし、きらめく Women's Campus 山形」
- P9 令和6年度ファール開催講座 報告
- P10 男女共同参画に関するお知らせ
- P12 男女共同参画に関する作品（一行詩）審査結果



「ファール」は、山形市男女共同参画センター
の愛称です。
「ファール」Falaとは、Female(女性)とala
(翼)を組み合わせた造語です。

山形に笑いと元気を届ける アマチュア落語家、宝笑亭姉妹、

近年、「落語」は身近なエピソードから自分らしく生きることについて考えるきっかけとして注目されています。宝笑亭熊水さん・卯さ銀さんは、山形県内各地でご活躍されているアマチュア落語家です。「笑いは宝」の思いを胸に、山形に笑いと元気を届けている親子に、活動への思いを伺いました。

―落語を始めたきっかけは？

熊水 中学の国語の授業で落語「目黒のさんま」に出会いました。クラスで発表がうまい人ベスト10に選ばれたことがとても嬉しかったことや、小学生の頃から演劇をやっていた、演劇も落語も役柄を演じ分ける面白さがあり、夢になりました。

卯さ銀 最初は親として熊水の運転手兼マネージャーをしているだけでした。熊水が落語を覚えている姿がとても楽しそうで、自分もやってみたいと思い、こっそり落語を覚えました。周りの人に「楽しいからやってみたら」と言われ高座デビューしました。

―高座デビューの感想は？

熊水 2014年5月、中学生の時にデビューしましたが、その時のことは緊張して覚えていません。みんなに笑っていただけで、腕を磨きたいと思いました。

卯さ銀 熊水から遅れること5か月の2014年10月にデビューしました。落語界ではデビューの早い方が「兄さん」「姉さん」になるので、熊水が「姉」で、母親である私が「妹」です。普段、人前で話すことはないのですが、高座に上がった時は頭が真っ白になりました。なんとかやり切れた、ツボ

のところでお客さんに笑ってもらえた、お客さんと一緒になって楽しめた、という気持ちだったことを覚えています。

―落語はどうやって覚えていきますか？

熊水 落語には台本がなく、語り継がれてきたものを耳で聞き、書いて覚えます。プロの方のDVDやCD、最近はYouTubeで落語を聞いて覚えています。昔の長屋など実際に見たことがないものは映像を見たり、資料館に足を運んで学んでいます。

―高座名の由来は？

熊水 東日本大震災の時、避難者の方に花笠踊りを披露して笑顔になっていただいたことをきっかけに、笑顔や笑いの大切さを感じました。「玉島」という団体で演劇をしていたこともあり、「宝」の字をとりました。

卯さ銀 プロの方の名前は使えないので注意しました。笑顔や笑いを大切にする熊水の思いから「笑いは宝」と思いついたので、

亭号は落語家らしく「宝笑亭」と名付けました。

熊水 名の部分に関しては、ディベアが好きで、熊のぬいぐるみのように愛されたという思いと、本名から「水」をとって熊水になりました。

卯さ銀 熊の妹なのでかわいらしく「うさぎ」にし、ゴロがいいので「卯さ銀」にしました。

―落語を始めて良かったことは？

熊水 いろんな年代の人と関わることができたことです。高齢の方は昔を思い出して笑ってくださり、若い人たちは大学祭などで披露すると落語に興味をもってくれました。また、「シエルターインクルーシブプレイスコパル（山形市南部児童遊戯施設）」で親子向けにも落語を披露し、話を聞いてくれたお父さんがご家庭で「じゅげむじゅげむ」とつぶやいているというお話も耳にし、とても嬉しく思います。

また、コロナ禍ではオンラインで上方落語家さんたちと繋がることもできました。英語落語にも挑戦中で、日本の伝統話芸を海外に発信しようと奮闘中です。

卯さ銀 地域とのふれあいや繋がりができました。仕事をしながら落語をやっている

ので、仕事の経験が落語に活かされていますし、本業にも落語の経験が活かされています。仕事や生活で大変なことや悩むこともありますが、落語があることでオン・オフの切り替えができるようになり、人生が豊かになりました。落語って人生だな、と感じています。

―女性落語家として、演じるのが難しい落語はありますか？

熊水 花魁の話は、花魁の色気やおやかさを演じた時、男性落語家がやると作り物として楽しめますが、女性落語家がやるとリアルになり過ぎる面があります。役を演じつつ笑いに変換しなくてはいけないので、演じ分けが難しく感じます。

卯さ銀 男女の駆け引きのお話では演じ分けが難しいなと思います。また、「代脈」や「転失気」は「おなら」の話なのですが、おなら一つとってもいろんな言い方があるので、どんな表情をして「屁」と口にした方がいいのだろうかと抵抗を感じていたことはありました。

―落語の世界での男女共同参画はいかがですか？

熊水 デビューは中学生でしたが、中学生



SPECIAL INTERVIEW



▶宝笑亭姉妹の
Instagram
@hoshotei_egao

©HOSHOTEI-EGAO

宝笑亭

山形に笑いと元気を届ける
アマチュア落語家

PROFILE

右 宝笑亭卯さ銀さん
(ほうしょうていいうさぎん)

2014年10月高座デビュー。仕事と家
事のかたわら落語にも取り組んで10
年。永遠の20歳。山形弁を使った落
語が評判を呼んでいる。

左 宝笑亭熊水さん
(ほうしょうていゆうすい)

2014年5月中学生で高座デビュー。
現役大学院生(米粉100%パンの研究)。
第60回ミス花笠。勝手に(?)
山形観光大使。

だからといって子ども扱いはなく、年齢・性別問わず一人の落語家として接してもらっています。
落語の中ではみんな仲が良く、平等で、すべての話に男女共同参画が紛れ込んでいます。夫婦間の諍いも笑いで吹き飛ばし、愛すべき夫婦像が描かれています。
卯さ銀 男女雇用機会均等法が定められ、女性の仕事と家庭の両立に向けて社会が変わりつつある時代に熊水は生まれました。

姉妹



会社では男性社会であったものの、地域では女性がしっかり活躍していました。
落語の世界では男性はどこか抜けていることが多く、その裏でしっかり者の奥さんが手綱を締めています。男女協力してよりよい社会を作っている姿が表現されているのです。登場人物たちが世代や性別を超えて愛されているのは、落語の世界が今に通じているからだと思います。

―お二人は、ワーク・ライフ・インテグレーション※を大切にしているそうですね。
卯さ銀 落語や落語を通してできた繋がりが、人生の中で楽しみを持ちながら仕事をしていると、仕事も楽しくなってきました。仕事柄臨終の場面に立ち会うことも多くありましたが、落語の世界では人の誕生から臨終まで題材になっているので、悲しいことも辛いことも笑いに変わられます。人生を落語に活かしていると思います。

熊水 大学院で米粉100%パンを研究しながら、落語や花笠踊り、勝手に(?)山形観光大使など大好きな山形を全国に広めるため様々な活動をしています。地域や大学のイベントでは、落語だけでなく講談にも挑戦し、「花小路と花柳界」や「蕎麦・ラーメン」、「山形五壇」や「100年ラヂオ語り」など山形を題材にしたオリジナルの講談を披露する機会もいただいています。
落語のおかげで様々な繋がりができ、充実したワーク・ライフになっていることに感謝しています。

取材を終えて

一人で何役も演じ、小道具は手ぬぐいと扇子のみであらゆるものを表現する落語は、他人の気持ちを想像すること、寄り添うことの大切さを教えてくれます。息の合ったお二人は、お互いを高め合える素敵な関係だなとスタッフ一同、憧れを抱きました。これからの活躍と、パワーアップしていく落語が楽しみです。

(編集協力員 山下みどり)

※ワーク・ライフ・インテグレーション (Work-Life Integration)
仕事(ワーク)と生活(ライフ)を明確に分けるのではなく、それらを柔軟に統合し、バランスをとる考え方。個人の人生観を軸に仕事と生活を統合し、双方を充実させることで生産性や生活の質の向上を目指す働き方という。

―これからの目標を教えてください。
熊水 全国、そして世界中の人に山形をもっと知ってもらうために、落語や花笠で笑いと元気を届ける活動を続けていきたいと思っています。継続は力なりです。
卯さ銀 一期一会の出会いを大切に、これまで笑顔を通してつながりを持てたことが嬉しいです。落語は悲しいことを笑いに変えられる「笑いの力」があります。笑いが山形中に広がればいいなと思います。笑いがこれからも落語を続けていきたいです。

「想いを引き継ぐ」中村明美さんに聞く事業承継

失敗は成功のもと！前向きに楽しみながら歩んだ20年

現在、国内中小企業では、経営者の高齢化や後継者不足を背景に事業承継の重要性が増えています。女性経営者は、半数以上が事業承継により経営者となっており、企業経営において、女性の事業承継の必要性がより高まっています。実家の廃業を受け、事業を立ち上げた中村さんに、事業を引き継いだ経緯や思いを伺いました。

―会社設立から20周年ということですが、どのような経緯でご両親の事業承継をしましたか？

昭和43年に両親が中村精肉店を起業しました。父はおいしいお肉をお客様に知っていただくためバイクで行商し、母は店を切り盛りする傍ら、お客様に喜んでいただきたという思いでお肉を使って惣菜を作り、販売していた。私は二人のその姿を傍で見えて育ちました。その後、卸業、焼き肉店と事業拡大に伴い、両親から手伝って欲しいと熱望されました。当時は、仙台で就職し、生活していました。一人っ子ということもあり引き寄せられるように山形に帰り、手伝うことを決めました。その後、家業を手伝いながら結婚し、二人の子どもを出産して子育てが始まったころ、両親から中村精肉店を閉めることを告げられました。このままお客様から愛されてきた会社がなくなるのは…と自分なりに考え、これまで両親が築き上げた食肉業界で自分が何かを残したい！お客様に評判だった母の手掛けた手造りの惣菜などの加工品を通して、忙しく働く方や主婦の方の役に立ちたい！と思い起業を決断しました。両親からは継いで欲しいとは言われませんでした。このままなくすのはもったいない、両親の思いも継いで、この会社を残したいという思いで一大決心しました。

―承継当時、仕事で悩んだ時はどう対処しましたか？

まだ30代前半で、当時は女性経営者も少なく、女性に何ができるんだという目で見られていたと思います。そういう時は、自分一人で悩みを抱えないで、いろんな人に相談しました。また、両親が健在でしたのでアドバイスをもらったり、心の支えになってもらいました。

―社長自らお店に出られていますね。

お客様を身近に感じ、生の声を聞きたいという思いと、喜んでいるお客様の声を従業員に伝え、従業員にやりがいを感じて欲しいという思いで店頭に立っています。また、作り手の思いをお客様に伝え、双方の橋渡しの役目も担いたいと考えています。

―ターニングポイントになったことは？

ターニングポイントは2つありました。一つ目は、ぐっと山形にテナントとして出店する機会をいただいたことです。山形県観光物産会館時代に、月2回催事場で出店していたのですが、山形弁での接客が面白く、好評だから毎日出店しないか、とお誘いだき、毎日販売するようになりました。観光物産会館が良くなれば弊社も良くなるという思いで、それを15年ほど続けた後、ぐっと山形にリニューアルする際に出店する機会をいただきました。そのおかげで



PROFILE

中村 明美(なかむら あけみ)さん

有限会社ミートの元気商事 肉の中村 代表取締役社長。両親から事業を引き継ぎ、子育てをしながら会社を経営。肉の中村では、山形牛・米沢牛・三元豚などの山形のブランド肉を使った加工品をはじめ、手造り味噌を使ったギフト商品なども手掛けており、手造りにこだわった商品を販売している。

お客様からも注目され、リピート客も増えたことは大きなターニングポイントだったと思います。

二つ目は、山形県中小企業家同友会で経営指針を作る会に参加し、経営理念を作ったことです。山形県中小企業家同友会に2019年に入会し、翌年「経営指針をつくる会」を受講しました。指針づくりを通して、がむしゃらに走り続け見えなくなっていた創業時の想い、お客様への想いに再び出逢い、原点に立ち返ることができました。お客様だけでなく従業員も喜ぶ会社になりたいという想いも芽生えました。自身と向き合い、経営理念ができたことで、従業員との対話が生まれ、経営理念に照らして判断できるように変わりました。

「山形県中小企業家同友会でもお話しされた『誰もが活躍できる環境づくり』についてお聞かせください。」

1、朝礼の実施

業務連絡のみではなくて、顔を合わせて思いを伝える・共有する場に行っています。

2、経営理念の浸透

ひとつひとつ手造りにこだわり、手間暇かけた商品を提供するには、コミュニケーションが大切です。心のこもった商品ができればお客様にも喜ばれ、みんな笑顔で楽しくやりがいのある仕事ができると思っています。これが経営理念の人間性の部分に繋がっています。

肉の中村 代表取締役

中村

明美

さん

3、働き方の改善

安心して休める会社へ以前は属人的な仕事が多く、休みにくい体制でした。子育て世代も多いので、仕事が一人に偏らずみんなが業務を共有できる体制に整え、休みやすい環境作りに取り組みました。「お互い様、ありがと様」の気持ちで協力体制が取れるようになってきました。

4、100%を求めない 失敗は成功のもと 学習して次へ

仕事をするうえで失敗はつきものです。学習して、失敗から学ぶことが大切で、そこから成長して活躍してくればと常々思っています。責任は私が取るよという気持ちです。

5、まかせろ 見守る

私から指示はせず、任せるようにしています。以前は私自身が動き、指示命令を出していましたが、今は困った時の手助けや相談役になるよう、任せて見守るようになっています。

6、心のこもった挨拶はコミュニケーションの始まり

挨拶は生きていく上での一丁目一番地と考えています。挨拶はひとりひとりの心から出るものだという考えのもと、挨拶の練習やマニュアルはなく、自主的に行動してもらっています。

7、自分も買いたいと思う商品を作る

従業員と共有しているのは、いつも自分がお客様の立場に立って商品を作ることです。お客様に喜んでいただきたいという気持ちで働いています。

「これまでに心に残っている出来事は何ですか？」

起業した頃から経営のパートナーとして共に歩んできた常務とやり方が違い、方向性の違いから思いが通じ合えなくなりました。そんな時期がありました。そんな時、山形県中小企業家同友会の「経営指針をつくる会」に参加しました。半年かけて完成した経営指針書を一番に常務に見てもらいたいと思い渡したところ、「社長、感動した。社長がこんなにも会社のことを考えていると思わなかった。感動して涙が止まらないう。」と読み終わった常務から電話がかかってきました。この経営指針を基に一緒にこれからは頑張ろうと誓いましたが、翌年体調を崩し、残念ながら他界してしまいました。職場復帰は叶いませでしたが、思いが通じ合うことができて、きっと常務も天国から見守ってくれていると思います。その他にも様々に残っている出来事はありますが、本当にお客様や皆様から支えられ

てここまで来られたと思います。皆様には感謝しかありません。

「女性経営者だからその悩みや難しさはありますが、また強みは何でしょうか？」

子育てしながらの難しさは確かにありました。子ども達とのふれあひも会社も大事にしたかったので、両立の大変さはあったのですが、難しさや大変さも楽しむようにしました。何より家族の協力があって今があると思います。また強みは、女性の視点に立った新しい価値の創造ではないでしょうか。母から教わった周囲への「目配り」「気配り」「心配り」を心掛けています。

「家庭と仕事の両立での苦労や工夫はありますか？」

家族の協力、特に母の協力があって仕事に集中することが出来たと思います。工夫していることは完璧を目指さないことです。そうすることで自身のバランスを取っています。家族の協力もあり、苦労を吹っ飛ばして歩んできました。前向きに切り替えていくようにしています。

「事業承継を迷っている方、事業を始めた方、また、起業を検討している方にメッセージをお願いします。」

先が読めない激動の時代ですが、後ろ向きにならず、楽しみながら前向きに経営して欲しいなと思います。経営すると様々なことに直面しますが、失敗は成功のもとと思ひ、楽しみながら前向きにあきらめない心で進んでください。諦めないといつかきっと良い時がやってきますから。諦めたらそこで終わりです。そこからどうやっていいか考えて、ステップアップしていけばいいと思います。

「今後の展望を教えてください。」

父は「好きです山形」という歌を出すほど山形が大好きです。父の想いのよう社会貢献できたらと思っています。両親から受け継いだ想いと良いものを残し、社会貢献できるような会社にていきたいです。



肉の中村ホームページ
<https://nikunakamura.theshop.jp/>



NIKUNONAKAMURA.CEO

肉の中村@社長の日常
<https://www.instagram.com/nikunonakamura.ceo/>



女性人材 まち、わたし、きらめく 育成事業 Women's Campus 山形 1・2期生 座談会

中川 真穂
Member profile
Women's Campus山形1期生。作業療法士歴13年。「書く」ことで思考を整理する方眼ノートレーナーとしても活動中。同事業3期生などと共に「For Me」を立ち上げ、やりたいこと実現のための女性や子どものサポート。イベント企画を県内外で行っている。



中川さん
Instagram

阿部小百合
Member profile
Women's Campus山形2期生。株式会社アール・エス・ピー・エスで婚活イベントを企画・運営するBee8(ビーエイト)を立ち上げ、結婚相談所の婚活カウンセラーとしても活動中。同事業1期生2名と共に「独アエス実行委員会」を立ち上げ、独身男女100名が集う独アエスを開催した。



Bee8(ビーエイト)
Instagram

斉藤 弘美
Member profile
Women's Campus山形1期生。産業カウンセラー・企業研修サービスGreen&heart代表。(笑いをもたらす)産業心理カウンセラー、コミュニケーションコーディネーター、研修講師として県内外で活躍中。同事業1期生2名と共に、すぐに使える男性の潜在魅力アップ講座を開催している。



Green & heart
ホームページ

中條 茜
Member profile
Women's Campus山形1期生。株式会社古窯ホールディングスで企画・マーケティングを担当。同事業に参加した社員3名と共に「古窯D&I(女性活躍推進)プロジェクト」のメンバーとして活動中。



古窯ホールディングス
ホームページ

山形市では、「女性が輝くまち山形」の実現及び若年女性の地元定着を目指し、山形で活躍する女性リーダー育成プログラムを令和4年度から実施しています。令和4・5年度に事業に参加した1・2期生たちは、どのような思いで女性人材育成事業に参加し、現在も活動を継続しているのでしょうか。活動を通して得たものや活動への思い、今後の展望を4名の参加者たちに伺いました。

「この事業に参加したきっかけや理由は？」

斉藤 女性活躍推進コンサルタントの仕事をしているので、女性達がどんな悩みを持ち、仕事をしているのかという生の声を聞ける機会になり、自身の仕事にも反映できるのではと思い参加しました。

中條 弊社の人事部から、女性活躍を進めていきたいのでちょっと勉強してきてね、と送り出されました。

阿部 1期生として参加した友人から紹介され、私も山形に貢献する活動をやってみようと思ったこと、仕事で関わる婚活女子たちに何か返せるものがあればと思い参加しました。

中川 体調を崩して休職していた時、上司から「やりたいことを試してみたら？」とアドバイスを受けた。そのタイミングで、友人からこの事業のチラシが送られてきて、チラシにあった「子供の未来づくり」や「女性が働きやすい環境づくり」といった内容に興味を持ち、参加することに決めました。

「令和6年度はどのような活動を行い、それらを通して得たものや感じたこと、新たに見つけた課題はありますか。」

斉藤 令和5年度に引き続き、男性向けのスキルアップ講座(進化系男子の会)を開催しました。全3回で、内容は「Webの活用方法やコミュニケーション、筋トレ、メンタルヘルス、スキューア、カラーコーディネート」などです。仙台からの参加者もいて、嬉しく思っています。来年度も開催して欲しい、もっと時間を長くして

欲しいという声もいただき、次回は更に充実させる予定です。

フアラ 男性向けのスキルアップ講座をやってみようと思った理由はなんですか？

斉藤 女性の活躍には男性の支えも大切です。若い女性が流出しないためには、男性が自信を持つことも必要だと感じていました。そこで「女性が素敵になるなら、男性ももっと素敵にしよう！」と提案したところ、仲間たちから賛同を得ることができました。他のグループが女性をターゲットにしていたので、私達は男性に焦点を当てることにしました。

フアラ 若年女性の流出が多い地域では、男性の未婚率が高い傾向にあるという国の調査結果もありますので、非常に良い着眼点だと思います。

中川 前回の企画より参加者が増えた理由や好評の要因は何ですか？

斉藤 ただ「格好良くなる」「素敵になる」というだけでは人は集まらないため、仕事に役立つスキルアップをテーマにした内容とタイトルにしました。フィジカルとメンタルがテーマの回で、がんを克服した方を講師に迎え、筋トレや食事、人生観についてお話しいただきました。参加者から多くの質問が出て、非常に満足度の高い講座になりました。参加者のニーズと企画内容がうまくマッチした点が好評の要因だと思います。また、結婚相談所から紹介された方が、この企画を通じてコミュニケーションスキルが改善され、お見合いが決まったという嬉しい報告もありました。今後の課題は、消極的で自分から手を挙げられない方々をどう集めるかだと思っています。

阿部 コロナ禍もあって、人との出会いが減り、恋愛関係などの経験が少ないため、背中を押して欲しい人が多い印象があります。そういう方々を後押ししていきたいですね。

フアラ 斉藤さんと阿部さんの活動に繋がりが出来たら面白そうですね。他の皆さんはどんな活動をされていますか？

中條 今期はこの事業に参加したメンバーを中心に、社内DXを進めています。具体的には、

クラウドベースの生産性向上・共同作業のツールセットを活用して業務効率化に取り組んでいます。旅館業は朝早くから夜遅くまでなので仕事を続けることが難しい面がありますが、その改善と自分たちの強みを作るために、業務効率化アプリの開発にも挑戦しています。また、女性活躍に向けたマインドセット研修を実施し、女性が上の役職を目指すために、論理的思考やアサーション、コミュニケーションの方法を学びました。これからもスキルを増やす活動をしていきます。

フアラ 研修に参加された方々からはどのような反応がありましたか？

中條 8名募集のところ社内外から15名の参加がありました。研修を通して、自己分析やキャリアについての振り返り、相手への接し方などを改めて考える良いきっかけとなったとの感想が寄せられました。参加者はもちろん、弊社役員からも好評をいただき、今後も活動を続けていって欲しいとの声も頂戴しました。



フアラ 開発中のアプリはどのようなものですか？

中條 弊社では「フレッド」という指針のもと、お客様の期待を超える付加価値を提供し、山形の魅力を高めることを目指しています。しかし、社内では山形の魅力を共有する場が不足しているため、社員が感じた山形の魅力を集め、お客様にも案内できる情報共有アプリを作りたいと考えています。また、社内の人事評価制度にもフレッドに基づく評価項目がありますが、評価が難しく、このアプリでの投稿が評価項目に加わる

ことで、社員のモチベーション向上に役立つのではないかと期待しています。

フアラ 企業側としても会社や山形の魅力を発信したいという目標になっていますし、社員の方も評価基準が明確になるという意味では、双方のプラスになりますね。

中條 そうですね。もう少し業務効率化に絡めたいのですが、なかなか難しいですね。

フアラ 古窯グループさんはテレワークなどフレキシブルな働き方にも取り組まれていますよね。阿部さんもフレキシブルな働き方をされていると伺いましたが？

阿部 とても自由に働かせてもらっていて、会社としても良いと言われていますが、社員同士の仲が良く、楽しいので毎日出社しています。

今年度の活動としては、婚活イベント「独フェス」実行委員会を立ち上げ、イベントを開催しました。開催に先立ち、婚活中の方々がどんなイベントを望んでいるかを調査するため、小規模の婚活イベントとアンケートも実施し、それを基に、グループトークや一対一で話せる部屋など、参加者が楽しめるよう工夫しました。改善点もありましたが、アンケート結果では参加者からは楽しんでいただけたようです。弊社ではマッチング発表をせず、意中の方に連絡先を伝えられるシステムですが、後日、参加者から連絡先交換や会う約束をしたという話を聞き、たくさんの人と出会えることや、話せる環境を整えることが満足度向上に繋がるとわかったことは収穫でした。



フアラ 男女80名ずつ、160人規模のイベント開催にあたり工夫された点は何ですか？

阿部 今回の企画で、広告の重要性を改めて実感しました。イベントを知ったきっかけとしては、弊社と独フェスのインスタグラムが一番多く、その次がMCのインフルエンサーさんだったので、SNSが強いという印象です。弊社を知らない参加者が多かったので、SNS広告が最も効果的だったと思います。

フアラ 中川さんはどのような活動をされましたか？

中川 私は方眼ノートを使ったタスク管理のワークショップを開催しました。3年前にノートを使った思考整理をするようになってから、書くことで自分の行動や物事の捉え方が変わり、一歩踏み出せるようになりました。忙しい日々を送る女性たちに、タスク管理を通じて自分のための時間を作る手助けができればと思います。ワークショップを企画しました。終了後のアンケートでは、「明日からタスク管理を始めます！」「という感想や、「癒しの時間になった」といった声を多くいただきました。毎日精一杯頑張っている中で、「もっと頑張らなきゃ」と思っている女性達に、自分を肯定し褒める大切さを感じていただけたのではないかと思います。イベント後もSNSで報告をいただき、実践して行動が変わったという声を多く聞けたことが、私にとって大きな体験でした。これまで自信がなくて行動できなかった私にとって、初めて人前で講座をしたことは大きな成功体験でした。ウィメンズキャンパスでの経験が自分の成長に繋がっています。



繋がっています。

一歩踏み出したい方、悩んでいる方へ、メッセージをお願ひします。

斉藤 女性活躍には男性の理解が必要です。男性へのサポートも必要だと思います。性別に関わらず誰もが活躍できる社会になるよう、女性だけでなく男性も輝くような取組をしています。

阿部 昔は人の目を気にして自分のやりたいことが分からず、仕事も「これくらいいいか」と思っていました。30歳の時の海外旅行を機に、やりたいことは全部やらなきゃ駄目だと感じるようになりました。24歳から人材派遣の仕事を始め、次第に仕事が好きになり、社長に「好きなことをしていいよ」と言われて、婚活の仕事を始めました。それがすごく楽しくて、今は充実した日々を送っています。結局、自分が動かないと何も変わらないと実感し、とりあえずやってみることに、視野を広げてみるのが大事だと感じています。

中條 真純さん(中川さん)の講座を受けて、自分を優先する時間の大切さを改めて感じました。勉強や同じ悩みを持つ人たちの時間は私にとって大きな助けになっています。子育て中は家族との調整が必要で、女性はどうしても家庭を優先しがちですが、自分を優先してもいいのではないかと思います。私は家族にも自分の時間が欲しいことを伝え、夫も子供もそのことを理解してくれています。一歩踏み出すために、自分自身のことをもっと大事にして欲しいと感じています。

中川 やりたいことがうまく具体化できず、年齢や環境を理由に諦めてしまうこともあると思いますが、女性ももっと自分を優先してもいいのではないですか。もちろん、子どもを優先することは大切ですが、自分のやりたいことを実現するお母さんの背中を見せることが、子どもにも大きな影響を与えると思います。私自身の経験や周りのパワフルに活躍している方々を見て、やりたいことに取り組むのに年齢は関係ないと思うんです。理想を積み重ねて具体化

していけば、その状態に近付けます。何歳からでも始められますので、その姿をぜひ周囲やお子さんに見せて欲しいです。



まち、わたし、きらめく Women's Campus 山形

山形市では、女性活躍の推進を図るため、女性人材育成事業「まち、わたし、きらめく Women's Campus 山形」を実施しており、女性メンバーが課題解決に向けた取り組みを行っています。

今年度は、3期生9名が「企業内における女性活躍推進」や「若年女性の地元定着」をテーマにグループ活動(Action)を行い、2月26日に活動発表会を行いました。また、1・2期生も継続して地域課題解決の活動に取り組んでおり、女性活躍推進のための活動の輪が少しずつ広がっています。社内で女性活躍推進を進めたい企業の方、一歩前に踏み出したい女性の皆さん、一緒に活動しませんか？

『Action』

「企業内における女性活躍推進」や「若年女性の地元定着」をテーマに、こんなことを実践してみました。



- 1 山形市内の女性活躍の現状を知る「アンケート調査」と、キャリアアップに不安を抱える女性向けワークショップ「自信を持ってキャリアアップ! katatcha (かたちちゃ) ~語るべ・聞くべ・話し合うべ♡~」
- 2 女性管理職5人へのインタビュー「実際どうなの?先輩女性が語る本音とは」
- 3 企業のPRと学生の本音、何かズレてない?双方からのアンケート調査「学生に響く働き方って何?」

2月26日(水)『活動発表会』

3期生が『Action』で取り組んだ活動の発表を行いました。

山形大学 柿崎様、資生堂ジャパン株式会社 脇様、佐藤市長、井上副市長より講評いただき、今後の活動への意欲が高まりました。

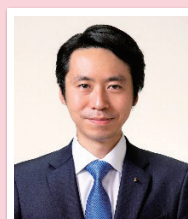
発表会の様子については、市ホームページに掲載しております。



山形大学
ダイバーシティ推進室
学術研究院 准教授
柿崎 悦子 様



資生堂ジャパン株式会社
西日本支社
事業サポート部 部長
脇 伸幸 様



佐藤 山形市長

1月30日(木)Meet up交流会 ~1・2期生の取り組み~

令和4・5年度、この事業に参加した1・2期生も活動を継続しています。

P4・5の「Women's Campus座談会」でご紹介した活動以外にも、食材(いのち)をいただくことの大切さを伝えることを目的とした親子向けの食育ワークショップや、女性が活躍しやすい環境を整えることを目的とした婦人科医師による働く女性の体調管理セミナーを開催するなど、地域課題や女性活躍をテーマに積極的に活動しています。

1月30日には、男女共同参画センターを会場に、令和6年度の取り組みの活動成果発表会を行いました。発表会后、参加者を交えた交流会を行い、日々の仕事や生活の中で直面する困難や悩みについて語り合う場となりました。

山形市では、引き続き活動を支援し、共に「女性が輝くまち山形」を目指してまいります。



交流会
の様子

令和6年度 ファーラ開催講座 報告

「男女共同参画のまち山形」の実現をめざし、第4次山形市男女共同参画計画「いきいき山形男女共同参画プラン」（計画期間：令和4年度～令和8年度）に基づいて、男女共同参画の推進のため、各種講座を実施しております。一部を抜粋してご紹介します。

山形市男女共同参画センター・やまがた育児サークルランド共催事業 10月28日(月)

「0歳から始める性教育」

講師：山形県立保健医療大学看護学科教授 遠藤 恵子 氏

家庭だからこそ教えられる身近な「性」について、講師と共に考えました。家庭でできる性教育や性に関する病気・性被害・妊娠・避妊・中絶についての話や、性自認・性的指向についてお話しいただきました。子どもが些細な事で安心して親や相談窓口に話せる環境を作る事が大切だと再認識した講座でした。参加者からは「専門の方のお話が聞けてとても良かった。」「性に関して子どもとの向き合い方の参考になった。」「身近なところから性教育を始めようと思います。」等の声が寄せられました。

※ファーラでは、本講座で紹介された幼児への性教育におすすめの絵本も貸し出しております。



「だいいだいい どこだ?」

遠見才希子・作 川原瑞丸・絵
大泉書店



「親と子で語る性のはなし」
ロビー・H・ハリス・文
マイケル・エムバリー・絵
おきたげん・訳 ほるぷ出版



「知らなかった! おなかのなかの赤ちゃん図鑑」
増崎英明・監修
WILL こども知育研究所・編著

男性向けビューティー講座 11月9日(土)

「身だしなみを整えてコミュカアップ! (メンズ編)」

～簡単スキンケア&美眉・スタイリングのコツ～

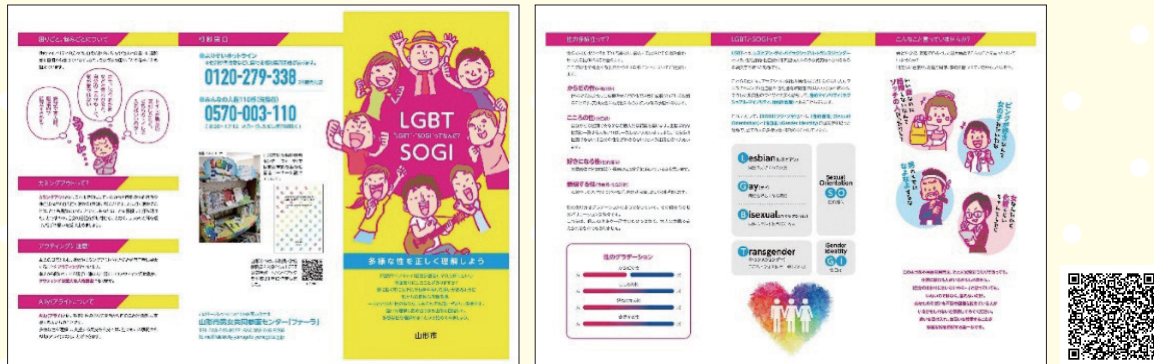
講師：資生堂ジャパン株式会社東日本支社 ソーシャルエリアパートナー 佐藤真理子 氏

資生堂ジャパン株式会社様からご協力をいただき、身だしなみを整えることで、自分に自信を持ち、コミュニケーション能力を高めることを目的に、昨年度に引き続き男性向けのビューティー講座を開催しました。洗顔フォームで泡立て選手権を行うなど終始和気あいあいとした雰囲気、笑顔あふれる講座となりました。参加者からは、「参加すると目からウロコですね」「参加者同士のコミュニケーションの機会もあり、美容について楽しく学べました」「美容への関心が高まりました」等の感想が、多数寄せられました。



多様な性に関する正しい知識の普及に努めています

「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」が施行されています。この法律は、全ての国民がその性的指向又はジェンダーアイデンティティにかかわらず、等しく基本的人権を享有するかけがえない個人として尊重されるものであることを基本理念にしています。山形市におきましても、引き続き多様な性に関する当事者の方々に寄り添った支援を行ってまいります。



「多様な性を正しく理解しよう」リーフレット

12月19日(木)に学校教職員向け性の多様性理解促進研修会を実施しました。

多様な性に関する理解を深め、児童・生徒が、性別、性的指向・性自認等にかかわらず、あらゆる活動において個性と能力を発揮できる一助となることを目的に研修会を開催しました。講師にLGBT当事者を迎え、当事者の視点から性の多様性についてのお話や、参加者からの様々な質問に回答いただきました。

まずは…

LGBTは遠い存在ではない

⇒海外や都会だけに存在するものではなく、山形にも、どの学校にも一定数存在するという意識を持つ。

※割合によって幅はあるが、1%～3%～10%であると言われている。

つまり、100人に1人はいれば1人に1人、クラスに1人はいるといふこと。

本日の目標

生徒の中には、LGBTの生徒がいるとイメージする

適切な知識を持つ

否定せず、話を聞けるようになる⇒受け皿

みなさんが、その子の人生のターニングポイントたり得るという意識を持つ

本題

例えば…

シスジェンダーで、ゲイの生徒は制服の問題について悩むことが少ない

⇒では、どんなこと・場面で悩むだろうか？

本質

そもそもなぜサポートが必要か？

石に水滴を垂らし続けると、穴が開く。

⇒小さな日々のダメージが、やがて生徒の心を壊してしまう。

⇒マイクロアグレッション

小・中学生学習資料「きらりかがやいて」を発行しています。

山形市では、性別にとらわれずに、一人の人間として尊重され、個性と能力が生かされる豊かな社会づくりを推進するため、男女共同参画学習資料「きらりかがやいて」を作成しています。



特に、中学 1 年生用の学習資料については、「男女相互の理解と協力」、「ジェンダーと多様性 (LGBT)」をテーマとし、多様な性に関する基礎知識などをわかりやすく記載しています。

「山形県パートナーシップ宣誓制度」で利用できる市の行政サービスを市ホームページに掲載しています

山形県では、すべての県民が、性別に関わりなく個人として尊重され、社会や地域において個性や能力を十分に発揮できる社会の実現を目指し、「山形県パートナーシップ宣誓制度」を運用しています。

山形市においても、性的マイノリティのカップルから「山形県パートナーシップ宣誓書受領証」を提示いただくことで、各種行政サービスがご利用いただけます。詳しくは、市ホームページをご覧ください。



育児・介護休業法が改正されました ～改正のポイント～

男女とも仕事と育児・介護を両立できるよう、育児期の柔軟な働き方を実現するための措置の拡充や介護離職防止のための雇用環境整備、個別周知・意向確認の義務化などの改正が行われました。

【施行日：令和7年4月1日】

- ① **育児休業取得状況の公表義務が300人超の企業に拡大**
対象企業が現行の従業員数1,000人超の企業から、従業員数300人超の企業に拡大されます。
- ② **所定外労働の制限（残業免除）の対象が拡大**
現行は3歳に満たない子を養育する労働者が対象ですが、改正後は小学校就学前の子を養育する労働者が請求可能になります。
- ③ **育児のためのテレワーク導入が努力義務化へ**
3歳に満たない子を養育する労働者がテレワークを選択できるように措置を講ずることが、事業主に努力義務化されます。
- ④ **子の看護休暇が見直しに（名称が「子の看護等休暇」へ）**
対象となる子の範囲が、「小学校就学の始期に達するまで」から「小学校3年生修了まで」に延長されます。取得事由に感染症に伴う学級閉鎖等、入園（入学）式及び卒園式が追加されます。「引き続き雇用された期間が6か月未満」の労働者も取得できます。（現行は労使協定により除外可）
- ⑤ **介護離職防止のための個別の周知・意向確認、雇用環境整備等の措置が事業主の義務に**
仕事と介護の両立支援制度等に関する早期の情報提供や、雇用環境の整備、介護に直面した旨の申出をした労働者に対する個別の周知・意向確認が義務づけられます。要介護状態の対象家族を介護する労働者がテレワークを選択できるように措置を講ずることが事業主の努力義務に。介護休暇について、「引き続き雇用された期間が6か月未満」の労働者も取得できます。（現行は労使協定により除外可）

【施行日：令和7年10月1日】

- ⑥ **柔軟な働き方を実現するための措置等が事業主の義務に**
 - (i) 3歳以上小学校就学前の子を養育する労働者に対して【始業時刻等の変更・テレワーク等（10日／月）・保育施設の設置運営等・新たな休暇の付与（10日／年）・短時間勤務制度】の中から2つ以上の措置（対象措置）を講ずること。
 - (ii) 子が3歳になるまでの適切な時期に対象措置の個別周知・利用意向確認を行うこと。
- ⑦ **仕事と育児の両立に関する個別の意向聴取・配慮が事業主の義務に**
妊娠・出産の申出時や子が3歳になる前に労働者の仕事と育児の両立に関する個別の意向聴取・配慮が事業主に義務づけられます。

事業所の皆様へ【両立支援等助成金】をご利用ください。

職業生活と家庭生活が両立できる「職場環境づくり」のために、仕事と育児・介護の両立支援に取り組む事業主に対して、両立支援等助成金の制度があります。（令和7年度は改正育児・介護休業法にあわせて助成内容が変更になる予定です）

【お問い合わせ先】山形労働局 雇用環境・均等室（TEL023-624-8228）

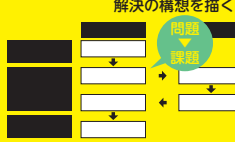


市内企業のDX推進を支援しています

山形市では、働きやすい職場環境づくりを推進し、地元企業の魅力向上を図るため、市内の中小企業や小規模事業者におけるDX推進に向けて、システム導入等に対する支援とDX人材の育成に取り組んでいます。

令和6年度は、勤怠管理システム等の導入に対し最大20万円を支援する「企業DX推進事業費補助金」と、身近な課題をデジタルを使って解決する思考力・実行力を身に付ける「DX人材育成講座」を実施しました。

STEP 1 身近な課題を設定し解決の構想を描く



STEP 2 データベースを設計



STEP 3 ノーコードツールでアプリを開発



デジタルによる課題解決の構想を体験しながら学びました。

◆DX人材育成講座◆

問題解決に向けた考え方を学べたので、職場でも活用していきたいです



初心者でも楽しく学ばせていただき大変貴重な時間でした

事前のデジタル知識・スキルは不要!

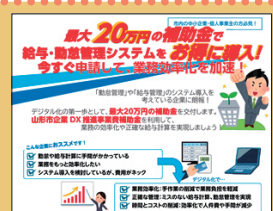


デジタルは、自分には無理かもしれないと消極的でしたが、前向きに取り入れていけそうです

（参加者アンケートより）

◆企業DX推進事業費補助金◆

デジタル化の一步として「勤怠管理」や「給与管理」のシステム等を導入する事業者を対象に、補助対象経費の2/3、最大20万円の補助金を交付しました。



今後も、市内企業のDX推進に向け、各事業を実施してまいりますので、ぜひ、ご活用ください。（詳細は市ホームページ等でお知らせします）

令和6年度 男女共同参画宣言都市事業 「男女共同参画に関する一行詩」 審査結果

大学・一般の部 応募総数127作品

最優秀賞

やりたいこと、
やってみたいことを
手離して
応援できる
社会になれば
いいのになあ

阿部 紗也加
(東北文科大学)



優秀賞

できてあたりまえ
できなくてあたりまえ
協力するのあたりまえ
感謝してごらん、
喜ぶから
感謝されてごらん、
嬉しいから

荒木 晋也
(山形市)

優秀賞

みんながそうだから
常識だからではなく
私がそうしたいから
やりたいからの
気持ちで
やりたいことを
精一杯!

岡崎 光輝
(山形大学)

たくさんのご応募
ありがとうございました!



令和6年度
「男女共同参画に関する一行詩」
入賞作品集のホームページはこちら

中学・高校の部 応募総数687作品

最優秀賞

登校中の小学生の
ランドセル
色とりどりで
ワクワクする
好きな色を身につけて
素敵な1日が
始まるんだろうな

滝沢 夏美
(第十中一年)

優秀賞

十人いれば
十の個性、
百人いれば
百の個性
それぞれの個性が
「キフリ」と光る
そんな世界を
私たちの心で
作っていく

鈴木 美結
(第一中二年)



優秀賞

人生に無数にある道が、
男女の区別で
通行止めされずに
全ての人が
歩くことができる、
そんな道になることを
信じる。

齋藤 葉音
(山大附属中三年)

優秀賞

男なのに
女なのに
そんな言葉がなくなって、
性別関係なく
活躍できる社会へ
あなたの得意なこと、
私の得意なことを
話そう!

工藤 愛子
(山形西高一年)

編集後記

毎年師走、コミセンで開催される山形落語愛好協会さんの年忘れ落語会に足を運んでいる。一年を笑い飛ばし新年に幸せを呼び込む、我が家の恒例行事である。この冬、落語「王子の狐」の聖地巡礼してきた。人間を化かすはずの狐が、逆に人間に化かされる話。ここに出てくる料理屋「扇屋」は江戸時代から続く実在のお店で、落語はお店の広告的役割もあったそうだ。現在は料理屋ではなく名物の厚焼き玉子を販売しており、一度は味わってみたいと訪れたところ休業日のため願いは叶わず。その足で王子稲荷神社を詣で、落語の世界を体感してきた。時代を超えても変わらず笑いを届けてくれる落語、これからも楽しみたい。(編集協力員 山下みどり)

20年にわたり「肉の中村」を率いてきた中村明美社長。その経営の明るさ、スピード感、そして何よりも「親の想い」を大切にする姿勢に深く感銘を受けました。取材を通じて感じたのは、単なるビジネスの継承・成功ではなく、家族の絆や伝統を守りながらも、時代に合わせて進化させる柔軟な発想力でした。中村社長の経営理念には、家族から引き継いだ想い、お客様への感謝、従業員との信頼関係、そして「良いものを届け、喜んでもらう」という一貫した想いがあります。それが「肉の中村」の成長の原動力となり、多くの人に愛される理由なのでしょう。今回の取材で受け取った情熱を、これからの読者の皆様にも伝えたいと思います。変わりゆく時代の中で、大切なものを守りながら進化する一その姿勢を私たちも学び続けていきたいと感じました。(編集協力員 大津 藤子)

- 男女共同参画情報紙「ファースト」は、以下の場所で配布しています。
男女共同参画センター「ファースト」、市役所(1階刊行物コーナー・市民課待合フロア)、霞城セントラル内の市の施設、市の公民館、コミュニティセンター、市立図書館
- 男女共同参画情報紙「ファースト」は、インターネットでも見るができます。(山形市HPで「ファースト」で検索してください。)
- 読んだご感想・ご意見などがありましたら、ぜひお寄せください。お待ちしております。